

SGH課題研究中間発表（5 回生）

- 実施日 平成 30 年 6 月 29 日（金）
 □生徒 5 回生
 □発表 各グループの研究課題、仮説、
 研究手法を発表。その後質疑応
 答。

生徒は 1 グループ 4～5 名から成る全 18 グループに分かれ、設定したテーマを発表しました。今回発表されたテーマは、大きく分けると次のような内容に分けられます。

1 農業の振興に関するテーマ

日本社会全体が高齢化へ進む中で、まだ働ける高齢者の身体的負担を軽減する農業のあり方、農業の企業化や機械化による生産効率の改善、農業を若者にとって魅力的な産業とするための取組など

2 食料増産や水問題に関するテーマ

地球全体で増え続ける人口を支えるために、これまであまり注目されていなかった食料資源に着目した班もありました。具体的には、現在は廃棄されている乳廃牛の積極活用、食品ロスを減らすためにビジネスや法律面に対応できること、昆虫や「害虫」として扱われている虫の食料や飼料としての活用、農業用水の循環による水不足の解消など

3 地域や日本の食材の魅力を高めるテーマ

「健康寿命」を延ばすための、洋食の良い点を取り入れた新しい和食メニューの考案や、地域の健康増進と地産地消促進の両方を目指す試み、全国にアピールできる魅力的な「駅弁」の考案による地域産業振興、また子供の孤食の解消など

4 漁業に関するテーマ

食糧不足解消や漁獲量減少への対応として、乱獲の抑制や、害魚として扱われている



外来種の積極活用、植林などを初めとする他産業との連携により水産資源環境を豊かにする取組、さらには現在あまり知られてはいない深海魚を養殖する試みなど

前年度の課題研究を踏まえての改善

生徒たちの発表内容には、昨年度 4 回生として初めて SGH 課題研究に取り組んだ際に不十分だった点を補完し、さらに充実させようという姿勢や、他の授業で学んで印象に残った題材をさらに掘り下げ、自分たちの研究テーマにつなげているグループが多く見られました。

発表後の質疑応答の際には、どのテーマについても活発な発言とやり取りが見られましたが、前年度に似たテーマで研究した生徒からの体験に基づいた助言や提案など、課題研究 2 年目の 5 回生ならではの発言が多く見られました。生徒たちはお互いのやり取りを通じて、これから深めていかなければならない点を明確にすることができました。

さらなるレベルアップへのエール

今回は教員も質疑応答に参加しましたが、その中では「調べ学習だけでなく、自分たちの周りを変えるような具体的なアクションを期待しています」という、どの生徒にも当てはまる激励がありました。今回得られた課題や助言を生かし、5 回生は研究を進めていきます。